

ジョン・マクレイガーの生涯

…私の指揮下の元

多くの仲間が死んだ

私は罪の意識から逃れるために
人どのかかわりを避け
放浪の旅を続けている

強迫観念から立ち止まることができない

立ち止まれば
いつか死に
殺される……

ずっとその恐怖に
怯えている……

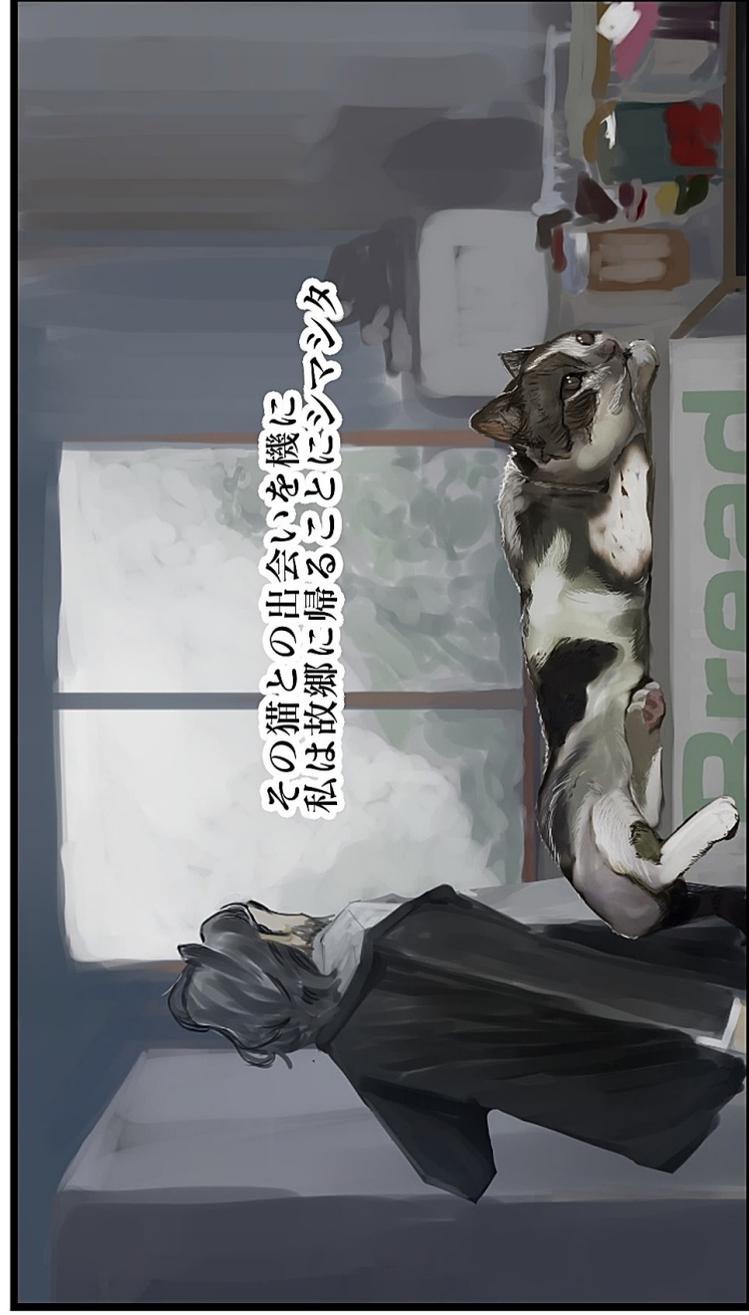


Oh...いけませんね
またいつもの夢デース
おや!?

ねこがこんな近くに!
うとうとしていて
気が付かなかったデース



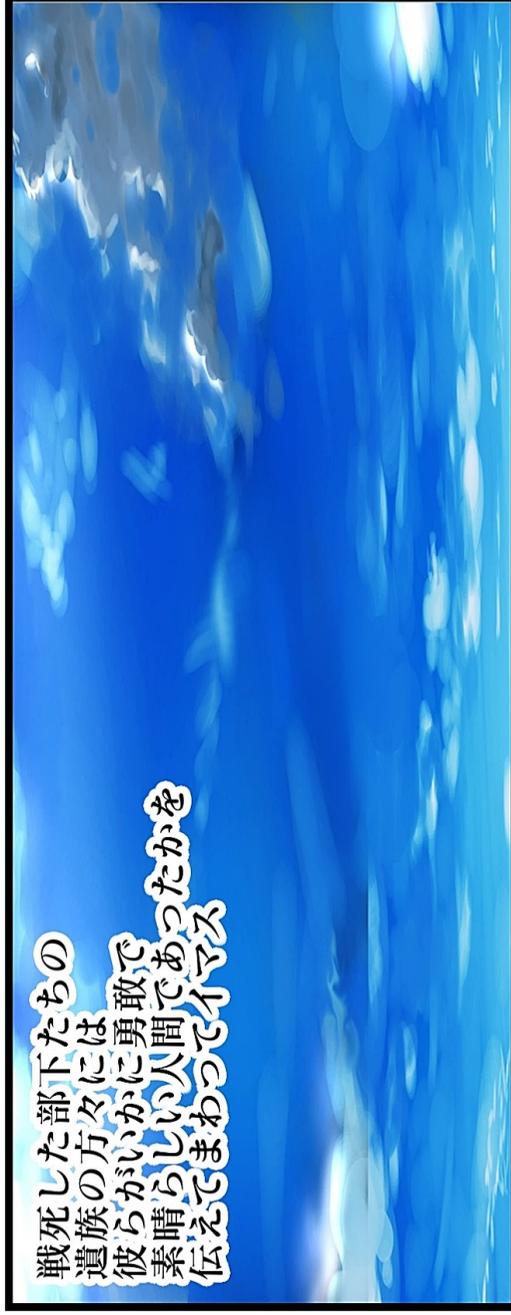
おーい
ねこさん
こんにちは!



その猫との出会いを機に
私は故郷に帰ることにシマシタ



多くの人の前で
戦場での実体験を話したり
そこで培ったものについて
その話を聞いてイマス



戦死した部下たちの
遺族の方々には
彼らがかっこいい人間であつたかを
素晴らして伝えてイマス

言葉を交わしている………
自分と相手が存在している
…その確認作業

たとえ無駄とも思える話でも
話すという行為に意味があるのかも
しれない…
私はそう信じているのデス